

事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 放課後等デイサービス HOORAY

公表:令和 4 年 3 月 5 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	50%	33%	16%	利用者さんが多いときは別の教室へ移動をする等工夫している。静かに過ごしたい子が安心して過ごせる環境作りをしていきたい。
	②	職員の配置数は適切であるか	50%	50%		配置基準は満たしているが、職員の人数が足りないときがある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	62%	25%	12%	段差のない床ではあるが、トイレが狭く車いすは入れない。手すりがあれば、歩行の練習ができますと思います。車いすが入るようにしたり、食事の際も準備がされ配慮してある。
	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	40%	40%	20%	やっている職員とやっていない職員がいる。限られた職員で行っているが、定期的にケース会議を行っている。勤務時間の関係もあり、パート職員などは参画が難しいが、可能な範囲で参画している
業務改善	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			今年度は、保護者会や避難訓練に取り組めた。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	80%	20%		公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		75%	25%	第三者による外部評価は行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			研修の案内が届いたときは、すぐ周知している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析して上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			ニーズや課題を分析し、計画を作成するよう努力している。
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	20%	80%		できている職員とできていない職員がいる。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	16%		
	⑫	活動プログラムが固定化されないように工夫しているか	66%	33%		いろいろな施設や事業所を参考にさせてもらっている。定期的に新しい活動を取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	16%	83%		子どもの様子を見て支援しているので、課題は決めているが、毎回ではない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	83%	16%		様子を見ながら取り組ませてもらっている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	33%	50%	16%	必ず打ち合わせは行っていないが、必要事項があれば伝えている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	28%	57%	14%	気づいたことは、業務日誌等で連絡している。アプリを通じてその日の子どもの様子などを共有している。これからも気づきメモを活用していきたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	16%		個別支援経過記録を毎日書いている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	83%	16%		クラフト、余暇、自立支援等、毎日の日替わりで取り入れている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			現在2人体制で行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			子どもたちの様子等、送迎時にお伝えしていただいている。適宜確認を行っている。
	㉒	医療的ケアの必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	60%	40%		受け入れていないので分からない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	40%	40%	20%	就学前に利用されていた事業所との連携は取れていないように思う。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		100%		卒業生が今のところ1人のため分からないが、必要であれば様子等お伝えすることは可能だと伝えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	60%		研修案内は出しているが、受ける職員と受けない職員があり、差がある。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		80%	20%	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40%	40%	20%	管理者が行っている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	37%	50%	12%	情報共有は行っているつもりだが、共通理解できているかは不明。送迎をしていない職員はなかなか保護者と関わる機会が少ない。

	⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	33%	16%	今のところ保護者様から求められていないように感じているため行っていないが、必要であればそういった支援も取り入れたい。
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%		契約時に行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	60%	40%		悩み等の相談には真摯に対応しているつもりだが、必要な支援と助言が行えているかは、正直分からない。
保護者への説明責任等	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	60%	40%		保護者会を通じてそういった機会があればと思っていたが、コロナ禍で1回しか開催できなかった。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		対応しているつもり。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	80%	20%		活動内容等、連絡帳インスタグラム等で発信している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	100%			個人情報には他には出さないよう特に注意している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			メールと文書、口頭等で伝えている。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		100%		コロナ禍で難しい。コロナ禍のため事業所内で行事を行うことが現在は多い。
	㉘	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	66%	33%		保護者様には周知できていない。職員で周知はしているが、保護者に周知しているかはわからない。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	66%	33%		毎年、研修に参加させていただいている。
	非常時等の対応	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	60%	40%	
㉜		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	60%	40%		現在通われているこの中にはいないので分からない。
㉝		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20%	60%	20%	ヒヤリハット事例集の作成はできていない。今後取り組む。作成はしているが、全員に共有はできていない。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。